

農業委員会だより

編集・発行
狛江市農業委員会
狛江市和泉本町1-1-5
☎03-3430-1111

おめでとう
ございます

農業委員会が推薦した
平成29年度 顕彰
受賞者紹介

企業の農業経営顕彰
東京都農業会議会長賞

谷田部 正美さん



先代の高齢化に伴い、平成8年に会社を退職し就農。現在は、サラダに適した品種を中心に生産し、外食チェーン店や市内飲食店、共同直売所等で販売。ネギ・玉ネギについては保育園や学校給食へ提供。平成26年に有志農家で「狛江GAP研究会」

を創設し、初代会長に就任。安心・安全の提唱と

野菜の地域ブランド化による認知度を高め、高品質な農作物の供給を目指す。また、先進的な水耕栽培にも着手し、東京都エコ農産物認証、認定農業者、東京都指導農業者の認定を受け、農業委員の経験も持つ優秀な農業経営者です。

農業功労者表彰

小川 芳文さん



就農時より環境に優しい農業を心掛け、有機肥料の積極的な使用や土壌改良に取組み、消費者

に安全で新鮮な野菜を供給。また、狛江の特産である枝豆の栽培に力を注ぎ、様々な品種を生産、

地元消費者に留まらず他県からの購入者にも好評。地域の信頼と優れた生産技術を持つ指導者であり、農業委員として平成20年7月から3期9年間を歴任、最終期には会長職を務め、農業振興への貢献と功績の評価が非常に高い優秀農業経営者です。

北多摩地区農業委員会連合会
優秀農業経営者表彰

飯田 美郎さん



平成13年、父親を亡くしたのを期に市役所を退職し、家業を継承。端境期が無いよう路地野菜を中心に生産、旬の新鮮な朝採り野菜を直売所にて対面販売する。また、有機肥料を積極的に活用するとともに、安全で新鮮な野菜を提供することを中心掛け、地元消費者からの信頼も非常に高い。平成23年7月から2期6年間にわたり、農業委員として地域農業の振興と発展に多大な貢献を果し、最終期には会長職務代理を務めた地域の模範となる農業経営者です。

簿記帳講習会について

東京都農業会議の指導による講習会を実施しています、詳細は事務局まで問い合わせ下さい。

■視察研修について



狛江市農業委員会は、平成30年2月8日に現地視察研修を実施しました。今回は横浜港湾労働組合執行委員長のご協力により、「横浜税関における輸入食品の実態」として、輸入野菜を中心とした保管状況の視察と、輸入食品の安全性や現場の実態について聴講しました。最初に案内されたテント倉庫には、木枠梱包された塩蔵胡瓜、茄子、大根などが煩雑に積上げられ、収穫期や賞味期限、廃棄期限の表記も無く、

食品加工されるまで延々と保管され続けるとのこと。また、倉庫内には空調設備も無く、決して安全とは言えない保管状況でした。その後、会議室に移動し、「日本における輸入農産物の現状と課題」と題し、現場の実態について改めて説明を受け

ました。日本の食料自給率は低く、食の大半は輸入に依存、食品輸入量は増加傾向にあり、検査基準を低く設定しなければ対応できない状況にあります。今回の研修を実施したことで、外国に依存する日本の食生活の危うさを実感し、食の安心と安全を守るため、国内農業の維持発展が必要であることを改めて認識することが出来ました。

■市民農園開園について



平成29年10月1日より、西野川2丁目の「1のがわ第2」と中和泉2丁目の「なかいずみ第3」市民農園が新たに開園しました。農業委員会では、開園に合わせて同年10月14日、並びに利用者改選に合わせて平成30年4月7日に開催された市内全農園の現地指導へ、講師として農業委員を派遣しました。当日は、参加者からの質問に対応し、野菜の品目ごとによる栽培方法や耕作する上での疑問等について、親切丁寧

に指導を実施しました。



■生産緑地制度について

平成29年6月、生産緑地法の一部改正が行われ、生産緑地指定の下限面積が500㎡から300㎡へ引き下げ可能となりましたが、市の条例制定が必要となることから、農業委員会では、早期の条例制定を要望するため、同年7月に意見書を市長へ提出いたしました。その後、これを受けた担当部署において、条例制定に向けた手続きが着々と進められているところですが、また、

平成30年4月には、新たに特定生産緑地制度が創設され、買取申出の時期を10年単位で見直すことが可能となりました。新制度への移行及び、従来どおりの税制特例を継続して受けたい場合は、当初の生産緑地指定から30年経過する前に特定生産緑地への指定手続きを行うことが必要となります。今後、農業委員会では関係機関と連携し、詳細が分かり次第、正確な情報を皆様へ提供いたします。



★活動備忘録★

★農地パトロール実施

平成21年の農地法改正により、農業委員会では、委員全員と事務局職員で、農地が適正に管理されているか、年3回(5月、9月、12月)農地パトロールを実施しています。実施した3回の調査共に、概ね、適正に肥培管理されていました。今後も、適正な農地管理に努めるようお願い致します。



★狛江産農産物直売

平成29年12月25日(月)

狛江市役所市民ひろばにおいて、都市農政推進協議会主催の狛江産農産物直売が開催されました。販売開始より多くの市民が列を作り、好評な売れ行きでした。



★農産物物品評会

平成29年11月12日(日)

狛江市民まつり会場で開催された第59回農産物物品評会では、近年の天候不順にもかかわらず、359点が出品されました。高品質な野菜や花卉類が展示され、市民への地元農産物の認知に貢献しました。



■食育講習会に参加して

平成29年7月11日(火)

あいとぴあセンターにて「狛江の畑を食べよう」と題し、農業委員を講師とした食育講習会が実施されました。約20名の方が参加し、最初に農業委員が講話を行い、次に狛江産野菜を使用した調理実習を体験しました。参加者の中にはリピーターも多く、とても熱心に聴講している姿も見受けられ、毎年、大変、好評な講習会となっております。



狛江の畑を食べよう!

■食レシピ なすピザ(4人分)

- 玉ねぎたっぷりトマトソース
 - トマト 1個(150g)
 - 玉ねぎ ¼個(50g)
 - 塩 一つまみ
 - オリーブ油 小さじ1
 - こしょう 少々
- 下準備: トマトはへたを取り、皮ごと荒くみじん切り。玉ねぎについてもみじん切りにする。

- ①作り方
- ①テフロン製のフライパンにオリーブ油を入れ、玉ねぎと塩を加え、あめ色になるまで中火で炒める。
 - ②トマトを加えて炒め、木べらでつぶしながら分量が半分になるまで煮詰める。
 - ③こしょうを加えて混ぜる。
- なすピザ
- なす 2〜4本(280g)
 - オリーブ油 大さじ½
 - ウインナー 2本
 - ツナ缶(水煮) ½缶
 - チーズ 50g
- 下準備: なすは1cm厚さの輪切りか斜め切りにし、塩水にさらして水気を切る。ウインナーは輪切り。

- ①作り方
- ①テフロン製のフライパンにオリーブ油を入れ、なすを両面焼く。
 - ②いったん火を消し、なすの上にトマトソース、ウインナー、ツナ、チーズをお好みでのせる。
 - ③フライパンに蓋をして、火にかけ、チーズが溶けたらお皿に盛り、出来上がり♪



全国農業新聞

経営と暮らしに役立つ情報がいっぱいの農業専門誌

を購読しましょう。

■発行日/週1回(金曜日)

■購読料/月700円

■年額8400円

■申込み/各農業委員会又は農業委員会事務局

農業者年金

たとえ、1ヶ月でも積立した年金は将来受給できます。詳しい内容は事務局まで

加入できる人は?

- 国民年金第1号被保険者
- 農業に年間60日以上従事する者
- 20歳以上60歳未満の者

就任挨拶



会長 本橋 正美
担当地区…和泉

会長を拝命しました本橋正美です。平成28年4月に農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員の選出方法が選挙制から市長が議会の同意を得る任命制へと変更になりました。これに伴い、平成29年7月20日から新制度に基づく選出により、現体制にて活動しております。現在の農業情勢においては、都市農業振興基本法を始め、改正生産緑地法及び特定生産緑地制度、都市農地の貸借の円滑化に関する法律

(案)など、都市農地保全に関する法整備が進められ、これら制度を周知し理解を深めていただけるよう、正確に情報を提供することが求められます。今後、農業委員会では、新制度を的確に把握し、理解の浸透に向けた情報発信活動に取り組んで参ります。また、地域農業の発展のため、農地の管理指導、各種調査や経営支援活動を含め、農家の身近な相談役として職務を遂行して参る所存です。今後とも農業委員会活動に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



須田 和男
会長職務代理
担当地区…小足立



山口 昭二
担当地区…全域



栗山 光行
担当地区…昭和・寛東



白井 昇
部会長
担当地区…松原



三角 武久
部会長
担当地区…岩戸



荒井 孝之
部会長
担当地区…山谷・原



小川 保
担当地区…猪方



松坂 進
担当地区…駒井



栗原 静枝
担当地区…全域



荒井 悟
担当地区…共栄

※部会は農政・調査・農地の三部会があり、部長は任期中、一年毎に各部会を交代で担当します。

■ 表彰
永年にわたり農業の先導者として地域農業に貢献された、小川芳文さん、栗山義一さんが、11月23日に表彰されました。

編集後記

第13号の発行に際し、事務局と編集委員には、ご協力いただき誠にありがとうございました。近年、農業を取り巻く状況が厳しさを増す中、農業に関する制度も目まぐるしく変動しています。今後も農業委員会からの情報発信として、広報誌の編集に取り組んで参りますのでご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

(編集委員)
須田和男 松坂進
栗山光行 荒井悟